

猪苗代湖の湖底堆積物掘削地の見学会

報告：藪崎志穂、廣瀬孝太郎、長橋良隆

2012年9月13日に猪苗代湖の湖底堆積物掘削地と掘削台船の見学会が行われました。この見学会は、磐梯観光船株式会社の矢澤さんと猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見さんが中心となって企画したものです。この見学会の発端は、矢澤さんが猪苗代湖の湖底堆積物掘削について大変興味を示され、掘削のことを鬼多見さんに話しされたことです。

当日は、猪苗代湖の自然を守る会の皆さん、翁島小学校の6年生11名、環境省、福島県、猪苗代湖周辺の自治体関係者など、総勢67名が参加しました。福島大学からは、長橋、廣瀬、藪崎が参加しました。磐梯観光船株式会社のご厚意で、かめ丸に乗船し、掘削地と掘削台船を見学しました。

湖底掘削地点に到着するまでの間、船の中ではボーリング掘削計画と研究概要、並びに猪苗代湖の水質について、20～30分程度の講演をおこないました。長橋教授の講演課題は「猪苗代湖の形成史と古環境変遷史の解明」で、本研究プロジェクトの概要と猪苗代湖の地形・地質について説明をおこない、また先に実施した猪苗代湖の音波探査の記録から推定される湖底堆積物の特徴について紹介しました。廣瀬特任助教の講演課題は「地層から過去の猪苗代を探る」で、地層の中の小さな化石「珪藻」から分かる過去の環境と、その研究を行う意義について説明しました。藪崎特任助教の講演課題は「猪苗代湖の堆積物中の水質調査」で、湖底堆積物中の水の抽出方法について示し、それらの水の水質や安定同位体の測定を行うことにより、湖水と地中水の関係や地中水の滞留時間について把握できることを説明しました。日本大学名誉教授の中村先生は猪苗代湖の水質の特徴と、長期間における観測の結果から明らかになった近年の水質変化についてお話しされました。

掘削地点では工事を請け負っている日本工営株式会社の担当者から掘削の方法について説明があり、湖上に設けられた掘削地点の状況を見学しました。また、掘削地点周辺では猪苗代湖の自然を守る会の皆さんがD0（溶存酸素量）や透明度の測定を実施し、同時に測定した他の水質項目（EC、pH、水温、ORP）の結果と併せて参加者に報告しました。

見学会に参加された皆さんは猪苗代湖の水質や環境について非常に興味を持たれており、定期的に湖水の水質調査や湖畔の清掃活動をおこなうなど、様々な活動に積極的に取り組まれているようです。本見学会を実施することにより、湖底掘削や湖底堆積物についても興味を持っていただけたと感じております。



かめ丸



掘削地点の様子



講演の様子 1



講演の様子 2



見学会参加の皆さん



見学会終了後のテレビ取材